

相原地区資源ごみ処理施設連絡会（第2回）

議事要録

- 日時 2014年1月25日（土）19時～20時30分
- 場所 堺市民センター ホール
- 出席 平山会長、井上副会長、青木委員、江田委員、井川委員
- 欠席 なし
- 事務局
 - 循環型施設整備課 : 内山環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長
水島課長、千葉担当係長、高田担当係長、深澤担当係長、
内海主任、柳川主事
 - 環境政策課 : 古木次長（環境政策課長）、高梨担当課長
 - 資源循環課 : 西川担当課長
 - 3R推進課 : 田中担当係長
 - コンサルタント : 株式会社 日建設計
- 傍聴者 3名
- 配布資料
 - ・ 1-1 : 相原地区資源ごみ処理施設連絡会（第1回）でのご意見・ご要望
 - ・ 1-2 : 町田市ごみの資源化施設地区連絡会調整機関体制の改正について
 - ・ 1-3 : 一般廃棄物資源化実施計画について
（第23回町田市廃棄物減量等推進審議会資料より抜粋）
 - ・ 2 : 資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方（案）
 - ・ 3 : 土壌汚染調査結果報告
 - ・ 4-1 : 今後の進め方（案）
 - ・ 4-2 : 地区連絡会及び見学会等における今後の協議事項について
 - ・ 5 : 第1回相原地区連絡会以降に頂いた主なご意見・ご要望
 - ・ 参考資料① : 経過報告 2013年10月19日（第1回連絡会）～2014年1月25日
 - ・ 参考資料② : 相原地区資源ごみ処理施設連絡会「先進ごみ資源化施設見学」報告
 - ・ 参考資料③ : 第2回 ごみの資源化施設の「今」を見にいこう！

● 開会の挨拶

内山部長より、開会の挨拶を行った。

1. 委嘱式

井川委員への委嘱状の受渡しを行い、同委員から挨拶をいただいた。改めて連絡会委員および事務局の紹介を行った。

2. 経過報告

事務局より、資料1を用い、第1回連絡会以降の地域での動きについて経過報告を行った。

(以下、補足説明)

- ・ **田後担当部長** 第1回連絡会以降の説明会・意見交換会で大戸地区から頂いた質問に回答する。

収集車両の排ガス対策について回答する。市が直営する車両には、排ガスの規制をかけている。委託業者の車両についても業者選定の際に排ガスについて条件付けすることで規制可能である。

騒音対策について回答する。騒音は東京都の条例を遵守するよう配慮する。屋内で作業を行うことで、外部への騒音の漏えいを抑制するよう配慮する。

VOCに関する懸念について回答する。過去に、市民から“杉並病”を懸念する発言もあったが、町田と杉並では処理方式も異なり、町田ではプラスチックのみを圧縮する計画である。また、過去に町田市独自で調査および実験を行った。実験の結果、プラごみを圧縮したものから微量の有害物質を含むガスが出ることが確認されたが、全国の清掃工場の事例等から活性炭による吸着脱臭を行うことによって国が定めた基準値以下にできることがわかっている。

学校の近くを候補地に選定した理由について回答する。候補地選定にあたっては、町田市内200か所以上の候補地から、公平かつ客観的な選定基準により、3段階の選定作業を経て、最終的に相対評価で当計画地が選定された。

通学路の安全対策について回答する。収集車両の動線と通学路が交錯しないよう、学校前からバス停界限には車両出入り口を設けないことで対応したいと考えている。ただし、収集作業に伴い車両が通学路を通る可能性があることは、ご了承いただきたい。収集時間等で対応していきたい。

環境への対策について回答する。法・条例に基づき動植物や、生活環境への影響等について別途調査を行い、調査結果についても公表してゆく所存である。

参考資料2を用い、昭島市環境コミュニケーションセンターの視察結果を報告した。

3. 協議事項

○ 議題1 第1回連絡会で頂いたご意見・ご要望

- ・ 町田市ごみの資源化施設地区連絡会調整機関体制の改正について
- ・ 今後のごみの資源化計画について

資料1-1を用い、第1回連絡会でのご意見・ご要望に対する回答を行った。

資料1-2を用い、町田市ごみの資源化施設地区連絡会調整機関体制の改正について

説明した。

(以下、補足説明)

- ・**事務局** 調整機関体制の改正の理由について補足説明する。関連まちづくり会議は、あくまでも町田市全体の広域的な課題を扱う機関である。市民意見の収集、検討の効率化を目的として、ごみの資源化施設地区連絡会から整備推進本部に直接意見を提示できるよう、体制を改正した。

資料1－3を用い、町田市の一般廃棄物資源化実施計画に基づいたごみの削減計画について説明した。

○議題2 資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方

資料2を用い、相原ごみ資源処理施設の取り扱う資源ごみの品目と施設の処理能力、施設規模および配置計画の概要について説明した。また、施設整備に伴い配慮する環境保全対策についても説明した。

(以下、質疑)

- ・**井上副会長** 処理能力はどのように決めたのか。
- ・**田後担当部長** 町田市全域で発生する資源化物の量から想定した。既存のリレーセンターみなみを先行稼働させ、相原と上小山田の2箇所に新たな施設を設置するので、町田市内で発生する資源ごみ量から、リレーセンターみなみでの処理量を除き、上小山田地区と相原で折半する形で処理量を想定している。
- ・**青木委員** 配置計画の概要図を見ると、施設の位置がかなりゆくのき学園に近いように見える。もっと道路に近い方にできないのか。
- ・**田後担当部長** 現在、地権者から了承を取り付けている範囲内で、今回の配置図を提示している。今後、道路沿いの敷地の地権者の方の理解が得られれば、道路に近づけた案も提示することも考えている。今後の検討課題とさせていただきたい。
- ・**井川委員** 大戸地区での意見交換会で、建屋をずらした場合の話があった。本日提示された案には反映されていないが、意見交換会と今日の資料との関係について説明がほしい。また、施設の位置について、学校から施設を離すことを優先させると、住宅地の方に施設が寄ってくるのではないかと懸念している。
- ・**田後担当部長** 建屋をずらした案については、地権者の理解が得られていないので、現時点では本日提示案のようになっている。市としては、施設を学校からも住宅からも離すことについて努力している。
- ・**青木委員** そもそも相原の候補地が、現在の位置になった理由は何か。学校や住宅地から離すのであれば、エリア自体を図よりももう少し南東に設定すべきだったのではないか。
- ・**田後担当部長** 候補地選定において当初市有地を前提としていたが、途中で民有地への建設についても視野に入れることとなり、その中で、相原の民有地の地権者の方から提供のお話を頂いたので敷地候補としていれさせてもらった。
- ・**井上副会長** 今後、敷地範囲を(701号線沿いまで)広げることは検討しないのか。
- ・**田後担当部長** 広げることができ、学校住宅から離すことができるならベストだが、現時点ではあくまでも、地権者の了承を得られた範囲内で計画していることをご了

承りたい。

- ・ **江田委員** せっかく施設を整備するならば、見本になるような最先端の施設として整備してはどうか。例えばカン・ビンの選別作業を、ロボットを用いて無人化する等できないか。
- ・ **コンサル** 分別されていない状態のごみからカン・ビンを機械で自動選別させることは難しい。品目別に回収されたものならば、ビンについては色ごとにセンサーなどで分別するようなことも今後考えられる。
- ・ **内山部長** ビンの色ごとの分別を自動で行う機械については、町田市でも過去にメーカーに問い合わせたことがあるが、現時点では実用化はされていない模様であり、完全な自動化は難しいと考えている。

○議題3 土壤汚染調査結果報告について

資料3を用い、土壤汚染調査結果について説明した。計画地は、2度にわたる埋め立てが行われているが、問題となるような埋め立て物はない事が確認できた旨報告した。また、土壤汚染物質については、全ての調査項目に置いて基準値以下であることについても報告した。

○議題4 今後の進め方について

資料4-1、資料4-2を用い、今後の進め方について説明した。

- ・ **事務局** 当初、2014年2月中にワークショップを計画していたが、ワークショップに代えて先進ごみ資源化施設の見学会を行うことにした。また、第1回連絡会では、施設の稼働時期を2020年度中としていたが、計画を見直し、2020年度初めの稼働とした。また、第3回連絡会については、3月1日(土)19時開始、会場は堺市民センターとしたい。

○議題5 意見交換

資料5を用い、前回地区連絡会以降にいただいた意見・要望を紹介した。

(以下、質疑)

- ・ **田後担当部長** 資源化施設整備計画について、相原全体から意見を集めたい。第3回連絡会までに地元で意見を収集し、事務局までご意見をご提示頂き、第3回連絡会の際に意見交換会を行う事を提案したい。
- ・ **青木委員** 意見収集したいとのことだが、自分たちだけでは、なかなか困難である。ひろく意見を収集するためには、まず、市が相原に資源化施設ができることをもっと周知する必要がある。また、回覧用チラシを配布する等、各町会に意見収集についてのお願いをすることを検討してはどうか。
- ・ **田後担当部長** 頂いたご意見については検討して、対応する方向で考えている。資料についても早めに皆さんに周知できるように努力する。

●閉会の挨拶

田後担当部長より、閉会の挨拶を行った。

- ・ **田後担当部長** 2020年度稼働に向けて、大戸地区の皆さんのご了承を頂くことが大事であると考えている。まずは、施設について知っていただくことが第一と考えている。

午後 8 時 3 0 分 閉会